

### 1. Course Description

3クラスに分かれ、各1名の教員が担任となり個人面談を行います。学修方法や進路などについての相談・指導を通して、国家試験に取り組む学修姿勢を学び確立します。また、面談時間中それ以外の学生は教員が出した課題について学びます。更に、国家試験に向けての準備として、これまでに履修した国家試験科目内容に沿った演習に取り組み、その学修成果を試験にて総括します。この授業ではDP1およびDP2に関する知識、態度を修得します。

### 2. Course Objectives

個人面談を通じて、学生と担任とのコミュニケーションを図り大学生活がより充実したものになることを目標とします。既に履修した柔道整復師国家試験科目内容に沿った、国家試験過去問題の出題形式、問題内容を正しく理解し正解を導くことができことを目標とします。

### 3. Grading Policy

中間試験(30%)および期末試験(50%)に加え、指定された提出物(20%)にて評価します。中間試験では試験後に問題の解説を行い、特に正答率が低い問題範囲は詳細に講義します。期末試験では試験後に正解と教科書出題範囲を掲示しフィードバックを行います。

### 4. Textbook and Reference

#### Textbook

テキストは1,2年時に使用したものを使います。国家試験過去問題は授業時に適宜配布します。その他に担当教員の指示する場合がありますので注意して下さい。

### 5. Requirements(Assignments)

演習形式の授業ですので、学生の積極的な参加を望みます。

### 6. Note

### 7. Schedule

- |      |                            |
|------|----------------------------|
| [1]  | オリエンテーション                  |
| [2]  | 学力判定試験                     |
| [3]  | 個人面談、学習課題の遂行               |
| [4]  | 個人面談、学習課題の遂行               |
| [5]  | 個人面談、学習課題の遂行               |
| [6]  | 個人面談、学習課題の遂行               |
| [7]  | 個人面談、学習課題の遂行               |
| [8]  | 中間試験                       |
| [9]  | 国家試験対策演習<br>生理学:必修         |
| [10] | 国家試験対策演習<br>生理学:一般         |
| [11] | 国家試験対策演習<br>解剖学:必修         |
| [12] | 国家試験対策演習<br>解剖学:一般         |
| [13] | 国家試験対策演習<br>リハビリテーション医学:必修 |
| [14] | 国家試験対策演習<br>リハビリテーション医学:一般 |
| [15] | 期末試験とまとめ                   |